

# 全国学力・学習状況調査について

## 1. 調査の目的

- 国が、義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- 各教育委員会、学校等が、全国的な状況との関係において自らの教育及び教育施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- 各学校が、各児童生徒の学力や学習状況を把握し、児童生徒への教育指導や学習状況の改善等に役立てる。
- 児童生徒一人ひとりが、自らの学習到達状況を正しく理解することにより、自らの学力や生活に目標を持ち、また、それらの向上への意欲を高める。

## 2. 調査実施日

令和5年4月18日（火）

## 3. 調査の対象

泉佐野市立北中小学校 第6学年、全児童

実施児童数（ 65 人）

## 4. 調査の内容

### （1）児童生徒に対する調査

#### ア 教科に関する調査

- （ア）小学校調査は、国語及び算数とし、中学校調査は、国語、数学及び英語とする。
- （イ）出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの学年・教科に関し、以下のとおりとする。
  - ① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
  - ② 知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等
- （ウ）調査問題では、上記①と②を一体的に問うこととする。出題形式については、国語及び算数・数学においては、記述式の問題を一定割合で導入する。英語においては、「聞くこと」、「読むこと」、「話すこと」及び「書くこと」に関する問題を出題し、記述式の問題を一定割合で導入するとともに、「話すこと」に関する問題の解答は、原則として口述式によるものとする。

#### イ 質問紙調査

調査する学年の児童生徒を対象に、学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問紙調査（以下、児童を対象とする場合は「児童質問紙調査」、生徒を対象とする場合は「生徒質問紙調査」、児童及び生徒を対象とする場合は「児童生徒質問紙調査」という。）を実施する。

### （2）学校質問紙調査

学校における指導方法に関する取組や学校における人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する質問紙調査（以下「学校質問紙調査」という。）を実施する。

※平成29年度より、文部科学省から示される都道府県の平均正答率及び市町村の平均正答率は、整数となっております。

## 令和5年度全国学力・学習状況調査の分析（国語）

### 1. 全体の傾向

- ・平均正答数の全体的な分布状況は、全国と比べて上位層が少なく、下位層が多い。  
平均正答率（本校 55／泉佐野市 62／大阪府 66／全国 67.2）

### 2. 学力状況調査より（本校正答率/全国正答率）

国語	特 徴 が み ら れ た 設 問
<p><b>【話すこと・聞くこと】</b></p> <p>○必要なことを質問しながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉えることに課題がある。</p> <p>3一（1）【インタビューの様子】の傍線部ア（～ということだと思いますが、合っていますか。）のように質問をした理由として適切なものを選択する（55.6/73.6）</p> <p>3一（2）【インタビューの様子】の傍線部イ（～というのは、どのような姿ですか。）のように質問をした理由として適切なものを選択する（58.7/74.0）</p> <p>○目的や意図に応じ、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめることに課題がある。</p> <p>3二寺田さんと山本さんが、どのような思いでボランティアを続けているのかについて、分かったことをまとめて書く（49.2/70.2）</p> <p><b>【読むこと】</b></p> <p>○目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約することに課題がある。</p> <p>2一【資料1】と【資料2】に書かれている内容として適切なものを選択する（79.4/90.0）</p> <p>○目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けることに課題がある。</p> <p>2二【相田さんのメモ】の空欄に当はまる内容として適切なものを選択する（58.7/67.4）</p> <p>○文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることに課題がある。</p> <p>2四資料を読み、運動と食事の両方について分かったことをもとに、自分ができそうなことをまとめて書く（28.6/56.2）</p>	<p><b>【言葉の特徴や使い方に関する事項】</b></p> <p>○学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことに課題がある。</p> <p>1三（1）ウ【川村さんの文章】の下線部ウを、漢字を使って書き直す（<u>きかん</u>） （63.5/72.6）</p> <p>○送り仮名に注意して、漢字を文の中で正しく使うことは概ねできている。</p> <p>1三（2）イ【川村さんの文章】の下線部イを、送り仮名に気を付けて書き直したものとして適切なものを選択する（<u>くらべて</u>） （88.9/93.1）</p> <p>○文章の種類とその特徴について理解することに課題がある。</p> <p>1四【川村さんの文章】の特徴の説明として適切なものを選択する（68.3/79.8）</p> <p>○日常よく使われる敬語を理解することに課題がある。</p> <p>3三敬語の使い方をまとめた【谷さんのノートの一部】の空欄に入る内容として適切なものを選択する（38.1/57.6）</p> <p><b>【情報の扱い方に関する事項】</b></p> <p>○情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことに課題がある。</p> <p>2三相田さんが【資料3】の情報をどのように整理しているかについて説明したものとして適切なものを選択する（52.4/62.0）</p>

### 3. 学習状況調査より

質 問 項 目	本校	全国	10%○ 5%◇	差
国語の勉強は好きですか	52.3	61.5	◇	9.2
国語の勉強は大切だと思いますか	87.7	94.2	◇	6.5
国語の授業の内容はよく分かりますか	83.1	85.7		2.6
国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	90.8	92.8		2.0
国語の授業で、言葉には、相手との好ましい関係をつくる働きがあることについて学んでいますか	77.0	83.9	◇	6.9
国語の授業で、立場や考えの違いを意識して話し合い、自分とは違う意見を生かして自分の考えをまとめていますか	58.4	76.8	○	18.4
国語の授業で、書いた文章の感想や意見を学級の友達と伝え合い、自分の文章の良い所を見つけていますか。	49.2	71.1	○	21.9
国語の授業で、物語を読むときに、登場人物の性格や特徴、物語全体を具体的にイメージし、どのような表現で描かれているのかに着目していますか。	69.3	82.3	○	13.0
今回の国語の問題では、解答を文章で書く問題がありました。それらの問題について、どのように解答しましたか ※「全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した」割合	82.5	80.7		1.8

- 「国語の勉強は好き」と感じている児童の割合が、全国と比べて低い割合であることは課題である。
- 「国語の勉強は大切だ」と感じている児童の割合が高いことは評価できるが、全国と比べて低い割合であることは課題である。
- 「国語の授業の内容はよく分かる」と感じている児童の割合が、高い割合であることは評価できる。
- 「国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う」と感じている児童の割合が、高い割合であることは評価できる。
- 「国語の授業で、言葉には、相手との好ましい関係をつくる働きがあることについて学んでいる」と感じている児童の割合が、全国と比べて低い割合であることは課題である。
- 「国語の授業で、立場や考えの違いを意識して話し合い、自分とは違う意見を生かして自分の考えをまとめている」と感じている児童の割合が、全国と比べて低い割合であることは課題である。
- 「国語の授業で、書いた文章の感想や意見を学級の友達と伝え合い、自分の文章の良い所を見つけている」と感じている児童の割合が、全国と比べて低い割合であることは課題である。
- 「国語の授業で、物語を読むときに、登場人物の性格や特徴、物語全体を具体的にイメージし、どのような表現で描かれているのかに着目している」と感じている児童の割合が、全国と比べて低い割合であることは課題である。
- 「今回の国語の問題について、書く問題で最後まで解答を書こうと努力した」児童の割合が、高い割合であることは評価できる。

令和5年度全国学力・学習状況調査の分析（算数）

1. 全体の傾向

- ・平均正答数の全体的な分布状況は、全国と比べて上位層及び中位層が少なく、下位層に偏りが見られる。

平均正答率（本校 55／泉佐野市 59／大阪府 62／全国 62.5）

2. 学力状況調査より（本校正答率／全国正答率）

算数	特徴がみられた設問
<p><b>【数と計算】</b></p> <p>○一の位が0の二つの2位数について、乗法の計算をすることに課題がある。</p> <p>1（4）全部の椅子の数を求めるために、<math>50 \times 40</math>を計算する (75.0/80.8)</p> <p>○（ ）を用いた式や、加法と乗法の混合した式を場面と関連付けて読み取ることに課題がある。</p> <p>3（1）2種類の辞典を全部並べた長さを求める二つの式について、それぞれどのようなことを表しているのかを選ぶ (56.3/70.3)</p> <p>○示された日常生活の場面を解釈し、小数の加法や乗法を用いて、求め方と答えを式や言葉を用いて記述し、その結果から条件に当てはまるかどうかを判断することに課題がある。</p> <p>3（2）3種類のファイル23人分を全部並べた長さの求め方と答えを記述し、全部のファイルを棚に入れることができるかどうかを判断する (43.8/56.7)</p> <p>○加法と乗法の混合した整数の計算をしたり、分配法則を用いたりすることに課題がある。</p> <p>3（3）<math>(151 + 49) \times 3</math>と<math>151 \times 3 + 49 \times 3</math>を計算したり、分配法則を用いたりして答えを求める (62.5/72.4)</p> <p>○（2位数）÷（1位数）の筆算について、図を基に、各段階の商の意味を考えることに課題がある。</p> <p>3（4）<math>66 \div 3</math>の筆算の仕方を説明した図を基に、筆算の商の十の位に当たる式を選ぶ (39.1/47.6)</p> <p>○「以上」の意味を理解し、示された表から必要な数を読み取ることに課題がある。</p> <p>4（2）運動カードから、運動した時間の合計が30分以上である日数を求める (64.1/75.7)</p>	<p>○正方形の意味や性質について理解することに課題がある。</p> <p>2（3）切って開いた三角形を正三角形にするために、テープを切るときのAの角の大きさを書く (29.7/24.9)</p> <p>○高さが等しい三角形について、底辺と面積の関係を基に面積の大きさを判断し、その理由を言葉や数を用いて記述することに課題がある。</p> <p>2（4）テープを直線で切ってできた二つの三角形の面積の大きさについて分かることを選び、選んだわけを書く (12.5/20.8)</p> <p><b>【変化と関係】</b></p> <p>○伴って変わる二つの数量について、表から変化の特徴を読み取り、表の中の知りたい数を求めることは概ねできている。</p> <p>1（1）5脚の椅子を重ねたときの高さを求める (90.6/93.5)</p> <p>○伴って変わる二つの数量の関係が、比例の関係ではないことを説明するために、表の中の適切な数の組を用いることに課題がある。</p> <p>1（2）椅子の数が2倍になっても、高さは2倍になっていないことについて、表の数を使って書く (76.6/88.3)</p> <p>○伴って変わる二つの数量が比例の関係にあることを用いて、知りたい数量の大きさの求め方と答えを式や言葉を用いて記述することに課題がある。</p> <p>1（3）椅子4脚の重さが7kgであることを基に、48脚の重さの求め方と答えを書く (50.0/55.5)</p> <p>○百分率で表された割合について理解することに課題がある。</p> <p>4（1）示された基準量と比較量から、割合が30%になるものを選ぶ (39.1/46.0)</p> <p><b>【Dデータの活用】</b></p> <p>○示された棒グラフと、複数の棒グラフを組み合わせたグラフを読み、見いだした違いを言葉と数を用いて記述することに課題がある。</p> <p>4（3）二つのグラフから、30分以上の運動をした日数が「1日」と答えた人数に着目して、分かることを書く (48.4/56.2)</p> <p>○二次元の表から、条件に合う数を読み取ることに課題がある。</p> <p>4（4）二次元の表から、読み取ったことの根拠となる数の組み合わせを選ぶ (59.4/64.6)</p>

### 3. 学習状況調査より

質 問 項 目	本校	全国	10%○ 5%◇	差
算数の勉強は好きですか	58.5	61.4		2.9
算数の勉強は大切だと思いますか	95.4	94.2		1.2
算数の授業の内容はよく分かりますか	73.8	81.2	◇	7.4
算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	93.8	93.3		0.5
今回の算数の問題では、言葉や数、式を使って、わけや求め方などを書く問題がありました。それらの問題について、どのように解答しましたか ※「全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した」割合	87.5	80.3	◇	7.2

- 「算数の勉強は大切だ」と感じている児童の割合が昨年度と比べて増加し、高い割合であることは評価できる。(R4 87.3)
- 「算数の授業の内容はよくわかる」と感じている児童の割合が、全国と比べて低い割合であることは課題である。
- 「算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う」と感じている児童の割合が高い割合であることは評価できる。
- 「今回の算数の問題について、書く問題で最後まで解答を書こうと努力した」児童の割合が昨年度と比べて増加し、全国と比べて高い割合であることは評価できる。(R4 78.2)

令和5年度全国学力・学習状況調査の分析（児童質問紙より）

本校の子どもたちの意識調査を、質問に対して4択（36問）で選ぶものは、選択肢1、2と3、4はそれぞれ同じ傾向と捉える。（例えば、1. 当てはまる 2. どちらかといえば、当てはまる 3. どちらかといえば、当てはまらない 4. 当てはまらない）

また、それ以外の質問（11問）は特徴的な事柄を取り出し、それらを全国と比較している。

下記の表には全国と比較して5%以上差のあるものを列挙した。また、下線部に関しては10%以上の差のあるものを示している。

設問内容種類別の全国との比較で差が大きく特徴のある項目

設問内容種別	本校の状況	本校 < 本校回答率 / 全国回答率 >
【自分自身について】	○自分には、よいところがあると思っている割合は、全国を下回っている。	○自分には、よいところがあると思いますか <75.4/83.5>
	○将来の夢や目標を持っている割合は、全国を下回っている。	○将来の夢や目標を持っていますか <69.3/81.5>
	○いじめは、どんなことがあってもいけないことだと思う割合は、全国を下回っている。	○いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか <90.7/96.9>
	○読書が好きな割合は、全国を下回っている。	○読書は好きですか <47.7/71.8>
	○住んでいる地域の行事に参加している割合は、全国を下回っている。	○今住んでいる地域の行事に参加していますか <47.7/57.8>
	○地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある割合は、全国を下回っている。	○地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか <64.6/76.8>
	○日本や地域について外国の人に知ってもらいたいと思う割合は、全国を下回っている。	○日本やあなたが住んでいる地域のことについて、外国の人にもっと知ってもらいたいと思いますか <67.7/78.1>

<p>【家庭生活の様子】</p>	<p>○朝食を毎日食べている割合は、全国を下回っている。</p> <p>○毎日、同じくらいの時刻に起きている割合は、全国を下回っている。</p> <p>○1日あたり全く読書をしなない割合は、全国を上回っている。</p> <p>○学校図書館や地域の図書館に行かない割合は、全国を上回っている。</p> <p>○家にある本が、10冊以下の割合は、全国を上回っている。</p> <p>○新聞を読んでいる割合は、全国を下回っている。</p>	<p>○朝食を毎日食べていますか &lt;86.1/93.9&gt;</p> <p>○毎日、同じくらいの時刻に起きていますか &lt;83.1/90.5&gt;</p> <p>○学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、読書を読みますか(電子書籍の読書も含む。教科書や参考書、漫画や雑誌は除く) 全くしない&lt;40.0/24.5&gt;</p> <p>○昼休みや放課後、学校が休みの日に、本(教科書や参考書、漫画や雑誌は除く)を読んだり、借りたりするために、学校図書館・学校図書室や地域の図書館(それぞれ電子図書館を含む)にどれくらい行きますか ほとんど、または、全く行かない&lt;64.6/40.9&gt;</p> <p>○あなたの家には、およそどれくらいの本がありますか(雑誌、新聞、教科書は除く) 0~10冊&lt;30.8/12.9&gt;</p> <p>○新聞を読んでいますか 週に1~3回程度以上読んでいる&lt;6.2/12.6&gt;</p>
<p>【家庭学習の様子】</p>	<p>○学校の授業以外に、1日当たり2時間以上勉強をする割合は、全国を上回っているが、全くしない割合も全国を上回っている。</p> <p>○土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たり1時間以上勉強をする割合は、全国を下回っており、全くしない割合は全国を上回っている。</p> <p>○学習塾の先生や家庭教師の先生に教わっている割合は、全国を下回っている。</p> <p>○ICT機器を勉強のために3時間以上使っている割合は、全国を上回</p>	<p>○学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強を読みますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む) 2時間以上&lt;30.8/25.6&gt; 全くしない&lt;16.9/4.6&gt;</p> <p>○土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強を読みますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む) 1時間以上&lt;46.0/52.5&gt; 全くしない&lt;26.2/13.8&gt;</p> <p>○学習塾の先生や家庭教師の先生に教わっていますか(インターネットを通じて教わっている場合も含む) 教わっていない&lt;41.5/54.4&gt;</p> <p>○学校の授業以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、PC・タブレットなどのICT機器を、勉強のために使っていますか(遊</p>

	っている。	びなどの目的に使う時間は除く) 3時間以上<10.8/2.9>
【学校での学習の様子】	<p>○先生に、わかるまで教えてもらっていると感じる割合は、全国を下回っている。</p> <p>○学校に行くのは楽しいと思う割合は、全国を上回っている。</p> <p>○自分と違う意見について考えるのは楽しいと思う割合は、全国を下回っている。</p> <p>○授業でICT機器を使用している割合は、全国を下回っている。</p> <p>○5年生までに受けた授業で、自分の考えがうまく伝わるよう、工夫して発表していた割合は、全国を下回っている。</p> <p>○5年生までに受けた授業で、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んだ割合は、全国を下回っている。</p> <p>○5年生までに受けた授業で、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていた割合は、全国を下回っている。</p> <p>○5年生までに受けた授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていたと感じる割合は、全国を下回っている。</p> <p>○話し合う活動を通じて、考えを深めたり、広げたりしている割合は、全国を下回っている。</p>	<p>○先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、わかるまで教えてくれていると思いますか &lt;87.7/93.0&gt;</p> <p>○学校に行くのは楽しいと思いますか &lt;90.8/85.3&gt;</p> <p>○自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか &lt;63.0/76.5&gt;</p> <p>○5年生までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか 週3回以上&lt;50.7/62.4&gt;</p> <p>○5年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか &lt;44.7/63.7&gt;</p> <p>○5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか &lt;72.3/78.8&gt;</p> <p>○5年生までに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか &lt;64.6/74.4&gt;</p> <p>○5年生までに受けた授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていましたか &lt;75.4/82.9&gt;</p> <p>○学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか &lt;67.7/81.8&gt;</p>

	<p>○学習した内容について見直し、次の学習につなげている割合は、全国を下回っている。</p> <p>○授業で学んだことを、ほかの学習で生かしている割合は、全国を下回っている。</p> <p>○総合的な学習の時間で、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいる割合は、全国を下回っている。</p> <p>○学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めている割合は、全国を下回っている。</p> <p>○道徳の授業で、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいる割合は、全国を下回っている。</p> <p>○英語の勉強が好きな割合は、全国を下回っている。</p>	<p>○学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか &lt;67.7/77.4&gt;</p> <p>○授業で学んだことを、ほかの学習で生かしていますか &lt;72.3/81.9&gt;</p> <p>○総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか &lt;50.8/74.8&gt;</p> <p>○あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか &lt;69.3/77.2&gt;</p> <p>○道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか &lt;69.2/83.6&gt;</p> <p>○英語の勉強は好きですか &lt;63.0/69.3&gt;</p>
--	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

## 本校の取組

### ◎これまでの取組

本校では令和2年度より国語科を中心に研究を推進している。今年度は「自分の考えをもち、豊かに表現する児童の育成—安心・安全な学習集団の中で、自信を持ってスピーチできる力の育成をめざして—」を研究主題とし、以下のような取組を行っている。

### ○主題追求のための取組

#### (1) 「ことばの力」の育成

- ・国語科を要とした全ての授業において、各単元の指導事項を明確にし、「ことばの力」を育成する。
- ・意味を理解している語句の数を増やし、話や文章の中で使えるようにする。
- ・語句のまとまりや関係、構成や変化について理解し、語彙の質を高める。
- ・朝学等で「ことばのちから」を導入する。
- ・読書タイムを毎週水曜日 13:25~13:40 の15分間で行い、本に親しむ児童を育てる。

#### (2) 話す機会の確保

- ・特別活動（学級活動）、行事、委員会活動等において、児童が人前で話す機会を確保する。最終的には読み原稿を持たずに発表できることをめざしながら、スモールステップで事前指導にあたる。

#### (3) つながりタイムの実施

- ・児童の「かかわる力」（ソーシャルスキルと自尊感情）の育成をめざし、年間23回、全学年においてつながりタイムを実施する。
- ・校内研修を行い、目的や実施方法を全教職員で共通理解のもと実践できるようにする。
- ・つながりタイムのスキルを授業で活用し、ペアやグループでの話し合い活動を意図的にとり入れる。
- ・定期的に児童アンケート、教職員アンケートを行うなど、短いサイクルでのPDCAを確立する。

#### (4) 安心・安全な学級集団づくり

- ・聴き方「あいうえお」や話し方「かきくけこ」の定着を図る。
- ・学習規律の徹底のために、「学習のきまり」を常に意識して取り組む。学期に1回児童アンケート、教職員アンケートを行い、定期的に検証する。

### ◎これからの取組

自分の考えをもち、豊かに表現する児童を育成するには、学習基盤となる安心・安全な学習集団の育成が必要不可欠である。昨年度から取り組んでいる「つながりタイム」を活用しながら、他者と心地よく関わる経験を積むことで、「自分もOK」「他人もOK」と言える子どもを育てていきたい。

その上で、全ての児童に基本的な学力を身につけさせることに重きをおいて取り組んでいく。子どもが「わかった」「なるほど」「できた」と感じられるための授業改善を推進するために、以下のような取組を行う。

#### (1) 授業力の向上

- ・年に2回公開授業ウィークを設定し、授業を担当する教員は1回以上公開授業を実施する。公開授業の際は、泉佐野スタンダードを活用し、授業の流れが分かるよう、略案を作成し、授業の組み立て方や実践方法等について、情報交換・共同研究をする。
- ・指導と評価の一体化の具現化をすすめる。単元でつきたい力や評価規準を子どもと共有し、効果的にICT機器を活用するなどして、子どもが主体的に学習に取り組める授業づくりを推進する。

#### (2) アンケートの実施・分析と活用

- ・定期的に実施するアンケートを学力向上・人権教育・生徒指導・支援教育等、あらゆる角度から分析し、各分野の取組みを検証するとともに、取組を改善させる。